

## 日本陸上競技連盟からのお知らせ

## 目 次

## ■2023年度 主要競技会日程 (案)

## ■活動報告

第229回ワールドアスレティックス (WA) カウンシル会議報告

第229回ワールドアスレティックス (世界陸連) カウンシル会議が2022年11月29日・30日にイタリア・ローマで開催され、カウンシルメンバーとして参加いたしました。

2022年度 全国普及育成・指導者養成担当者会議報告

2022年12月19日(月)に2022年度全国普及育成・指導者養成担当者会議を、WEB会議システムを用いて開催いたしました。

JRWJs研修会報告

2022年11月27日(日)に日本陸連事務局にて、競歩の歩型判定、競歩規則の理解、競歩審判員の実務、競歩運営支援システムの実務と研修の内容でJRWJs育成研修を開催いたしました。

## ■大会観戦ガイド

第106回日本陸上競技選手権大会・20km競歩 兼 ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 兼 杭州2022アジア競技大会 日本代表選手選考競技会 兼 パタヤ2023アジア陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 第34回U20選抜競歩大会

第106回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走／第38回U20日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走

名古屋ウィメンズマラソン2023 兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 兼 ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会 兼 杭州2022アジア競技大会 日本代表選手選考競技会 兼 マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ

## ■事務局からのお知らせ

セイコー GGP 5.21 横浜・日産スタジアムにて開催!セイコーゴールドングランプリ陸上2023横浜「JAAFオフィシャルカレンダー 2023」の追加販売が決定しました!

WRK対象競技会:ワールドランキングコンペティション:2023年からのWAへの記録申請について  
ブダペスト世界陸上への道:WAランキングをチェックしよう!

## information

- ・個人情報の共同利用について

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16577/>



- ・日本陸連登録料の設定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>



- ・WRK対象競技会／広告規程について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2022年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15231/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2023年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15943/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2024年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16334/>



- ・アンチドーピング／鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



- ・【ブダペスト世界選手権】

エントリースタンダード



[https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202208/24\\_100216.pdf](https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202208/24_100216.pdf)

# 2023年度主要競技会日程(案)

※1 国内区分  
 ・JCH：日本選手権 ・GP：日本グランプリシリーズ ・JMC：ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ ・DC：ホクレン・ディスタンスチャレンジ ・代表：日本代表選派競技会

※2 国際区分  
 ・WA：World Athletics ・AAA：Asian Athletics Association ・FISU：International University Sports Federation ・OCA：Olympic Council of Asia  
 ・WAS：World Athletics Series ・CT：World Athletics Continental Tour ・Label：World Athletics Label Road Races ・OW～Eなどのアルファベットは、WA競技会カテゴリーを示す。

2023年1月18日現在

日程	競技会名	開催地	開催場所	区分	国内区分※1	国際区分※2
8日(土)	第31回全業記念選抜陸上中長距離大会2023	熊本	えがお健康スタジアム	(後援)	JCH	E
16日(日)	第107回日本陸上競技選手権大会・35km競歩	石川	輪島	主催	GP	
16日(日)	吉岡徳徳記念第77回出雲陸上競技大会	鳥取	鳥取県立浜山公園陸上競技場	(後援)	GP	
21日(金)～23日(日)	2023日本学生陸上競技個人選手権大会	神奈川県	レモンスタジアム平塚			
22日(土)	TOKYO spring Challenge 2023	東京	調剤中	GP	(WA) (CT)	(Challenger) D
22日(土)～23日(日)	第71回兵庫リレーカーニバル	兵庫県	神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場	(後援)	GP	(WA) (CT) (Challenger) D
23日(日)	第25回長野マラソン	長野県	長野	主催		
23日(日)	第12回高橋尚子杯びんご清流ハーフマラソン	岐阜県	岐阜	(後援)	WA	Label Gold
29日(土)	第57回織田幹雄記念国際陸上競技大会	広島県	広島広域公園陸上競技場	(後援)	GP	(WA) (CT) (Bronze) C
3日(水)	第39回静岡国際陸上競技大会	静岡県	小笠山総合運動公園総合スタジアム	(後援)	GP	(WA) (CT) (Bronze) C
4日(木)	第34回レモンスタジアムinのべおか	宮崎県	延岡市西園陸上競技場	(後援)	GP	
5日(金)	2023水戸招待陸上	茨城県	ケーズデンキスタジアム水戸	(後援)	GP	
6日(土)～7日(日)	第10回北海道孝記念陸上競技大会	大阪府	ヤンマースタジアム長居	(後援)	GP	(WA) (CT) (Bronze) C
21日(日)	ゴールデンランプリ陸上2023	全国各地	日産スタジアム	主催	(WA) (CT)	(Gold) A
69回全日本中学校通信陸上競技大会	全国各地			主催		
1日(木)～4日(日)	第107回日本陸上競技選手権大会	大阪府	ヤンマースタジアム長居	主催	JCH	B
1日(木)～4日(日)	第39回U20日本陸上競技選手権大会	大阪府	ヤンマースタジアム長居	主催	JCH	
4日(日)	仙台国際ハーフマラソン大会2023	宮城県	仙台	(後援)		
6日(火)～7日(水)	U20アジア陸上競技選手権大会	韓国	国際	代表	AAA	
6日(火)～10日(土)	トレイルマラソン・ニック世界選手権	オーストラリア	インズブルック	国際		
10日(土)～11日(日)	第107回日本陸上競技選手権大会・混成競技	秋田県	秋田県営陸上競技場	主催	JCH	B
10日(土)～11日(日)	第39回U20日本陸上競技選手権大会・混成競技	秋田県	秋田県営陸上競技場	主催	JCH	
25日(日)	布勢スプリント2023	鳥取県	鳥取県立布勢総合運動公園陸上競技場	(後援)	GP	
25日(日)	2023函館マラソン	北海道	函館	(後援)		
1日(土)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2023特別大会	北海道	士別市陸上競技場	主催	DC	
1日(土)	2023オースターナイト陸上(第63回実業団・学生対抗陸上競技大会)	神奈川県	レモンスタジアム平塚	(後援)	GP	
5日(水)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2023深川大会	北海道	深川市陸上競技場	主催	DC	
8日(土)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2023網走大会	北海道	網走市営陸上競技場	主催	DC	
9日(日)	第36回南部忠孝記念陸上競技大会	北海道	札幌市厚別公園陸上競技場	(後援)	GP	
12日(水)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2023札幌大会	北海道	札幌市東区陸上競技場	(後援)	DC	
12日(水)～16日(日)	アジア陸上競技選手権大会	タイ	バンコク	国際		GL
15日(土)	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2023千歳大会	北海道	千歳市青葉陸上競技場	主催	DC	
28日(金)～8月8日(火)	FISUワールドユニバーシティゲームズ2023	中国	成都	国際	FISU	B
28日(金)～29日(土)	Athlete Night Games in FUKUI 2023	福井県	福井県福井運動公園陸上競技場	(後援)	GP	
29日(土)～30日(日)	第20回田島直人記念陸上競技大会	山口県	維新百年記念公園陸上競技場	(後援)	GP	
2日(水)～6日(日)	第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	北海道	札幌市厚別公園陸上競技場	主催		
6日(日)	富士北麓ワールドトライアル2023	山梨県	山梨県富士北麓公園陸上競技場	GP		
11日(金)～13日(日)	第58回全国高等学校夏季陸上競技選手権大会	東京都	駒沢オリンピック公園陸上競技場	国際		
19日(土)～27日(日)	世界陸上競技選手権大会	ハンガリー	ブダペスト	国際	代表	WA WAS OW
22日(火)～25日(金)	第50回全日本中学校陸上競技選手権大会	愛媛県	愛媛県総合運動公園陸上競技場	主催		
23日(水)～29日(金)	日韓ジュニア交流競技会	和歌山県	紀三井寺公園陸上競技場	国際	代表	
26日(土)～27日(日)	第58回全国高等専門学校体育大会陸上競技	新潟県	調剤中	主催		
27日(日)	調剤中	北海道	調剤中	(後援)		
17日(日)	第46回観王杯平塚アスリート大会	山形県	山形県平塚アスリートヴィレッジ	主催	(JMC) WA	Label
22日(金)～24日(日)	「日清食品カップ」第39回全国小学生陸上競技交流大会	調剤中	調剤中	主催		
23日(土)～10月5日(木)	アジア競技大会	中国	杭州	国際	代表	OCA A
30日(土)～10月11日(日)	WAロードランニング選手権大会	イタリア	リガ	国際	代表	WA WAS GW
30日(土)～10月11日(日)	Athletics Challenge Cup 2023	新潟県	デンカビッグスワンスタジアム	(後援)	GP	(WA) (CT) (Bronze) C
調剤中	第92回日本学生陸上競技対校選手権大会	調剤中	調剤中	(後援)		
調剤中	全日本マスターズ陸上競技選手権大会	調剤中	調剤中	(後援)		
7日(土)～8日(日)※調整中	第107回日本陸上競技選手権大会・リレー競技	調剤中	調剤中	主催	JCH	
7日(土)～8日(日)※調整中	みんなであそぶこころフェスティバル2023	調剤中	調剤中	主催		
9日(月)～8日(日)	第35回出雲全日本学生選抜駅伝競走	鳥取県	出雲	主催		
13日(金)～17日(火)	特別国民体育大会	鹿児島県	鹿児島県立鴨池陸上競技場	主催		
15日(日)	東京レガシーハーフマラソン	東京都	東京	共催		
15日(日)	マラソングランドチャンピオンシップ	東京都	東京	共催		
20日(金)～22日(日)	第17回U18・第54回U16 陸上競技大会	愛媛県	愛媛県総合運動公園陸上競技場	主催		
20日(金)～21日(土)	TWOLVES MIDDLE DISTANCE CIRCUIT in TOKYO 2023	東京都	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場	GP		
調剤中	第60回全日本35km競歩高大会	山形県	高島	(後援)		
29日(日)	第41回全日本女子駅伝対校選手権大会	宮城県	仙台	(後援)		
19日(日)	第11回神戸マラソン	兵庫県	神戸	(後援)		
26日(日)	第43回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会(クイーンズ駅伝)	宮城県	仙台	(後援)	WA	Label
調剤中	第55回全日本大学駅伝対校選手権大会	愛知県	豊田	(後援)		
調剤中	第38回全日本女子駅伝	福岡県	福岡	(後援)		
9日(土)または10日(日)	アジア選手権2023	調剤中	調剤中	主催	GP	
10日(日)	第107回日本陸上競技選手権大会・10000m	調剤中	調剤中	主催	JCH	B
17日(日)	第31回全国中学生駅伝大会	滋賀県	希望が丘	主催		
30日(土)	2023全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)	静岡県	富士	主催		
調剤中	福岡国際マラソン選手権大会2023	福岡県	福岡	主催	(JMC) WA	Label Gold
調剤中	第54回防府読売マラソン大会	山口県	防府	(後援)	(JMC) WA	Label Elite
調剤中	男子第74回・女子第35回全国高等学校駅伝競走大会	東京都	京都	主催		
調剤中	2023長崎陸協競歩大会	長崎県	長崎県立総合運動公園陸上競技場	(後援)		
調剤中	第42回山陽女子ロードレース大会	岡山県	岡山	(後援)		
2024 1日(月)～祝	第72回元旦競歩大会	東京都	前橋	(後援)		
1日(月)～祝	第68回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)	群馬県	前橋	(後援)		
調剤中	皇后杯 第42回全日本都市対抗女子駅伝競走大会	東京都	都立	主催		
調剤中	天皇杯 第29回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	広島県	広島	主催		
調剤中	第43回大阪国際女子マラソン大会	大阪府	大阪	主催	(JMC) (WA) (Label) (Platinum)	
調剤中	2024大阪ハーフマラソン	大阪府	大阪	(後援)	(WA) (CT)	(Challenger)
3日(土)～4日(日)	第107回日本陸上競技選手権大会・室内競技	大阪府	大阪城ホール	主催	JCH	D
3日(土)～4日(日)	2024日本室内陸上競技大阪大会	大阪府	大阪城ホール	主催		
11日(日)	第52回全日本実業団ハーフマラソン大会	山口県	山口	(後援)		
18日(日)	第107回日本陸上競技選手権大会・20km競歩	兵庫県	神戸	主催	JCH	
調剤中	第35回全日本びわ湖クロスカントリー大会	滋賀県	希望が丘	(後援)		
調剤中	第9回全国中学生クロスカントリー大会	滋賀県	希望が丘	主催		
調剤中	第76回寄川丸亀国際ハーフマラソン	香川県	丸亀	(後援)	(WA) (Label) (Elite)	
調剤中	第72回大分県総合マラソン大会	大分県	大分	(後援)	(JMC) (WA) (Label) (Elite)	
調剤中	第62回福岡西日本マラソン大会	宮崎県	延岡	(後援)	(JMC)	
調剤中	京都マラソン2024	東京都	京都	(後援)		
調剤中	第57回青梅マラソン	東京都	東京	(後援)		
調剤中	熊本城マラソン2024	熊本県	熊本	(後援)		
調剤中	大阪マラソン2024	大阪府	大阪	共催	(JMC) (WA) (Label) (Gold)	
調剤中	第107回日本陸上競技選手権大会・クロスカントリー競走	福岡県	福岡	主催	JCH	
調剤中	第39回U20日本陸上競技選手権大会・クロスカントリー競走	福岡県	福岡	主催	JCH	
1日(金)～3日(日)	世界室内陸上競技選手権大会	イギリス	グラスゴー	国際	代表	WA WAS GW
17日(日)	第48回全日本競歩実業大会	石川県	能美	(後援)		
17日(日)	第18回日本学生20km競歩選手権大会	石川県	能美	国際	代表	AAA A
17日(日)	2024アジア陸上競技選手権大会・20km競歩	石川県	能美	共催	(JMC) (WA) (Label) (Platinum)	
調剤中	東京マラソン2024	東京都	東京	(後援)		
調剤中	第27回日本学生ハーフマラソン選手権大会	東京都	立川	主催		
調剤中	第27回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	鳥取県	松江	主催	(JMC) (WA) (Label) (Platinum)	
調剤中	名古屋ウィメンズマラソン2024	愛知県	名古屋	主催	(JMC) (WA) (Label) (Platinum)	
調剤中	としまマラソン2024	徳島県	徳島	(後援)		

■確認中の国際競技会

アジアリレー(場所未定)、アジア投擲選手権(木浦・韓国)、アジアマラソン(香港)、アジアハーフマラソン(場所未定)

( )は申請中または2022年度実績

# 第229回ワールドアスレティックス(WA)カウンシル会議報告

名誉会長 横川 浩

第229回ワールドアスレティックス(世界陸連)カウンシル会議が2022年11月29日・30日にイタリア・ローマで開催され、カウンシルメンバーとして参加した。同会議の概要は以下の通りである。

## 1. ロシア陸連

前回のカウンシル会議で、独立した監査機関と国際パネルが資格回復に向けて課せられたマイルストーンに基づいて、調査を行う事が決定されていたが、ルネ・アンデルセン調査団長から、ガバナンスの新たな文化、ドーピングに対するゼロ容認、ドーピング教育等に関連して、大きな進展が見られると報告が行われた。ロシア陸連が地域陸連とも協力して独自の教育システムの構築や検査体制の拡充を行っており、内部通報制度も確立されてきている。但し、全ての分野で不要要素が払拭されたわけではないので、状況を注視し、次回3月のカウンシル会議に向けて、資格復帰後のプロセスが継続協議される。資格停止処分が解除されたとしても、ロシア陸連はAIU監視下におかれる事になる。ウクライナ侵攻によるロシアのステータスとドーピングによる資格停止は別問題である事が強調された。

## 2. ケニア陸連

ケニアのドーピング問題が、AIU報告の一環として報告され、ケニア政府が現状を改善するために、ドーピング対策費用として今後5年間、毎年500万ドルを拠出する事が説明された。

## 3. コンペティション

- ① 2024年世界リレーはバハマ・ナッソーで開催される事が決定した。過去3回の開催実績、温暖な気候、豊かな環境、開催地のグローバル分布が評価された。2024年パリオリンピック参加へのトライアルとして、5月4日・5日に開催される。
- ② 世界ロードランニング選手権を2025年から毎年開催に変更する。同大会の毎年開催は、ロードランニング種目の発展に寄与する事が大きく期待される。
- ③ 2023年ロードランニング選手権リガ大会の参加要項が承認され、各国連盟はハーフマラソンには最大男女各4名、5キロとマイルレースには男女各2名までエントリーする事が出来る。タイムテーブルも承認され、5キロとマイルレースは9月30日、ハーフマラソンは10月1日に実施される。
- ④ 2024年世界クロスカントリー選手権大会(クロアチア・メドリン/プラ)の開催日程が2024年2月10日・11日で承認された。
- ⑤ 2024年U20世界選手権大会(ペルー・リマ)は当初承認されていた日程より1週間遅らせ、2024年8月26日～31日に変更する事になった。
- ⑥ 2025年世界陸上競技選手権東京大会の日程が諮られ、東京の気象条件、ダイヤモンドリーグやコンチネンタルツアーズのグローバルカレンダーを考慮した結果、2025年9月13日～21日に決定した。
- ⑦ 2024年パリオリンピックの参加資格、参加標準記録が承認された。競歩ミックスレースは男女各1名の25チームが参加する事で合意されたが、その競技方法については、IOCと調整し、早期の合意を目指す。

## 4. ワールドランキング

- ① 毎年行われているワールドランキングの見直しについて提案が行われ、大会のカテゴリーやワンデーミーティングのポイントの計算を中心に修正が必要である事が確認された。ロードマイ

ルは1500mイベントグループのシミラーイベントとなる。ワールドランキングの中長期的な見直しは2025年世界陸上後に実施される予定。

- ② ワールドランキング対象競技会の導入に伴い、テクニカルルール1と11に修正が行われる。同競技会への申請はオンラインで行われ、その申請費用は25ドルとなるが、各国陸連主催の場合はその費用は発生しない。

## 5. WA規則と規定の変更

- ① ロードマイルの世界記録を認定する事が決定し、セパレーション、エレベーションの規則が適用される。同世界記録の制定は2023年1月1日から導入されるが、9月1日迄は男子3:50.00、女子4:19.00の記録が必要になる。9月1日の時点でこのタイムが達成されなかった場合には、その時点での最高記録が世界記録として認定される。
- ② WAインドアツアーズ規定が更新され、正当な理由のないノーショーが発生した場合、当該選手はその後5日間、他の競技会に出場する事を認めない事を定めた。これにより、選手の直前での参加取り止めによる、大会主催者への影響を軽減する。同規定にはサステナビリティ基準も導入された。
- ③ 不正スタートの規則変更については更に状況を分析する。その中で、スタートガイドラインには文言を追加する事が決定した。スタートレフェリーは、リアクションタイムが認められているタイムに近い、動きがはっきりと確認出来ない、技術的確認が更に必要と判断した場合には、プロテスト下での競技続行を認める事が出来る。

## 6. WAレフェリー制度

エリアレベルと特定のWA傘下の大会の審判が出来るシルバーレフェリーの試験が2022年11月5日に実施され、112か国から401名が受験した。女性の受験者が40%となり、ジェンダーバランスの観点から大きな改善が見られた。2023年にはブロンズレベル、ゴールドレベルの試験が実施される予定。

## 7. キッズプログラム

2023年は100か国、100万人以上の参加、50か国政府と合意文書を締結する事を目標としている。ロゴやマスケットの決定、eラーニングプログラムの充実、エリアでの指導者育成プログラムの開催が推進される。

尚、2022年12月14日にはアジア陸上競技連盟(AAA)第99回カウンシル会議がインドネシア・バリ島にて開催され、AAAが主催した大会及び今後開催予定の大会準備状況が報告された。今年開催のアジア選手権はタイ・バンコク市内のスパチャラサイ国立競技場で行われ、AAA創設50周年記念の年にあたるので同地にて記念行事を行う。

2024年以降のAAA大会の開催地は以下の通り決定した。

- ① 2024年アジア室内陸上競技選手権大会：イラン
- ② 2024年U20アジア陸上競技選手権大会：アラブ首長国連邦
- ③ 2025年U18アジア陸上競技選手権大会：サウジアラビア
- ④ 2025年アジアマラソン：中国・嘉興市
- ⑤ 2025年アジア陸上競技選手権大会：韓国・亀尾市

同会議では、AAAの戦略計画(2023年～2030年)が協議され、7月に開催される総会に諮られる。

# 2022年度 全国普及育成・指導者養成担当者会議 報告

指導者養成委員長 山本 浩

日時：2022年12月19日（月）16:00-19:00

場所：指導者養成委員会本部メンバー / 日本陸連会議室  
全国担当者 / WEB会議（ZOOM）

## 《出席者》

山本浩委員長、沼澤秀雄副委員長、岸政智普及ディレクター、森健一委員会幹事、秋元恵美委員、舟橋昭太委員、鈴木英穂事務局長、石井朗生事務局次長、磯貝美奈子強化部長、三宅聡経営企画課長、田中悠士郎指導者養成課長、米嵩奈央指導者養成課員、西村和樹指導者養成課員（以上日本陸連事務局から参加）

風間明専務理事、中村仁経営企画課員、指導者養成委員、都道府県陸上競技協会指導者養成・普及育成担当者99名（以上各地からオンライン参加）

進行：指導者養成委員会幹事 森健一

## 1. 日本陸連 挨拶

日本陸連 専務理事 風間明

12月15日（木）にアスレティックス・アワードが開催され、アスリート・オブ・ザ・イヤーはオレゴン2022世界選手権男子20km競歩で金メダルを獲得した山西利和氏が受賞した。オレゴン世界陸上では、日本選手団も総合順位11位と史上最高の順位を獲得。皆様のご理解、ご支援のもと、U-16、U-18、U-20というカテゴリーやダイヤモンドアスリートプログラムを導入したこともあって、その成果として選手たちが世界で羽ばたいている。今後も、皆様指導の選手から次のダイヤモンドアスリートそして日本代表選手が生まれることを願っている。

## 2. 日本陸連 指導者養成に関して

指導者養成委員長 山本浩

現在の指導者養成の三本の柱として『資格保持指導者の層を厚く』『資格講習会をアクティブラーニングを主体とした方式への転換』『講習会を主管するエデュケーター制度の策定』があげられる。公認指導者への期待は、『統一基準の指導能力の把握』『最新の情報に基づく指導法の取得』『資格保持者が獲得した知見の共有』である。それが結果的に『競技力の向上』『自己効力感の上昇』『目標への到達』へとつながり、陸上競技を通じ人生の充実に重なってくれればという思いがある。

## 3. 指導者養成関連・資格制度について

指導者養成副委員長 沼澤秀雄

(1)JSPO公認スポーツ指導者資格の登録者数

2022年10月1日付で5559名の登録者がいる。引き続き、指導者養成指針に従い指導者の拡充を図る。

(2)監督／コーチの指導者資格の義務化に向けた調査の実施  
指導者資格の義務化に向け、より現実的な計画を立てるため、2022-2023年度を調査・検証期間とし、主催大会での有資格者の充足率を図る調査を行う。

(3)栄章規定の改定

2025年度より、高校優秀指導者章及び中学優秀指導者章の表彰は、『公認コーチまたは公認ジュニアコーチ（JSPOコーチ1以上）の有資格者を対象』とする新たな選考基準が設けられた。

(4)エデュケーター制度

2021年度にエデュケーター養成講習会を開催した。現在、都道府県から選出された27名が修了となり候補者として選出されている。

今後、2024年には全ての都道府県でJAAFエデュケーターが稼働できるように進めていく。

まだ、エデュケーター候補者が任用されていない都道府県は、積極的に受講者を推薦していただきたい。

(5)JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会の改定

JSPOカリキュラムの改訂に伴い、2023年度から講習会の実施方法が変更になる。また、これまで強い要望があった都道府県協協と公認ジュニアコーチの受講生の連携を図るため、受講条件に「日本陸連登録者であること」を追記した。開催募集等の詳細は議題7に記載する。

## 4. 日本陸連の登録制度について

日本陸連 経営企画課長 三宅聡

(1)登録webシステムの変更

(2)小学生の登録開始

2023年度から日清食品カップ都道府県小学生陸上競技交流大会へ参加する5、6年生の小学生は登録が必須となる。

(3)大学生の登録条件の変更

(4)審判員資格者指導者資格の義務化

2025年度から小学生中学生の登録がある一般団体は、1名以上の指導者資格保持者及び公認審判員資格保持者の在籍を義務化する方向で調整中。

＜都道府県からの質問＞

岡山：ジュニアコーチの受講条件が陸連登録者とあるが資格保持者にも適用するのか。

森：現状は受講条件のみと考えている。

三重：小学生登録料の具体的用途はなにか。

三宅：大会運営や新規の登録システムの運用費として使わせていただく想定。

岡山：公認記録にはしないのに小学生から登録料を取る理由は。

三宅：公認記録にするために登録料を取るのではなく登録システムに記録（参加履歴や競技記録など）を蓄積していくためと考えている。

## 5. 運動部活動の地域移行について

ゲスト：青山学院大学 准教授 田原陽介  
日本中体連 専門部長 中村信悟  
福井陸協 専務理事 木原靖之

聞き手：山本浩

(1)学校部活動と地域クラブの現状と課題 田原陽介  
今年度、本連盟より出版された『陸上競技コーチングブック』からアップデートされている情報について示された。また、現時点で考えられる地域移行における課題の整理および確認があった。

(2)日本中体連の取り組みや情報の共有 中村信悟  
来年度以降の大会参加の特例細則や通信大会での円盤投・女子棒高跳導入及び中学1年生の1500M廃止といった大会種目等の情報提示があった。

(3)地域における活動事例 木原靖之  
福井陸協がこれまで進めてきた、地域移行に関する情報の共有と現在計画をしている総合型地域クラブの活動計画や運営するにあたり直面している課題の提示があった。

## 6. グループワークによる情報交換

進行：森健一

テーマ：『アスレティックファミリーを拡充する取り組み』

### ◇グループA

審判は人数を必要とする。審判資格を持った人間が専門的な運営、記録の入力など補助的な部分は保護者に手伝ってもらうなど、多くの人間を交えた大会運営システムを考えるべきだ。地域移行にあたり教員が部活を離れていくとなると競技会の運営自体が非常に難しくなる可能性が高い。そのため、審判等への報酬も考えていく必要がある。

### ◇グループB

島根県は野球場でジャベリックスロー体験会を行い、陸上競技への関心向上の機会を創出している。施策場所を絞らず他競技の子どもたちのタレントを発掘するためにいった。

### ◇グループC

兵庫県は記録会終わりに保護者の父母に向けて非公認の記録会を行っている。子ども世代や親世代も取り込んでいこうという形で施策を実施している。

福井県もDTT（誰でもタイムトライアル）という名称でいつでも記録がとれる施策を行っている。

## 7. 各事業について

日本陸連 指導者養成課長 田中悠士郎

(1)JAAF 公認コーチ (JSPO 公認陸上競技コーチ3) 養成講習会

今年度、既に1会場終了しており引き続き2会場実施していく。2023年度については、今年度同様の受講条件の設定及び講習会場の確保を予定している。各陸協においては、受講者の推薦をお願いしたい。

(2)JAAF 公認ジュニアコーチ (同 コーチ1) 養成講習会  
今後開催される会場も含め21会場で実施。多くの会場で多大なご協力、ご尽力をいただき感謝申し上げます。来年度は、JSPOからの連絡が届き次第、実施方式や事務手続き方法等について連絡をするが、都道府県での実施日数・運営方法については、今年度同様と考えている。会場確保に協力をお願いしたい。

(3)JAAF 公認スタートコーチ (同スタートコーチ) 養成講習会  
今後開催される会場も含めて20会場で実施。来年度については、大きな変更なく開催会場の募集などを考えている。陸連から派遣するエデュケーターについては、2023年度をもって終了する。次年度、積極的に開催を検討して欲しい。

(4)日清食品カップ小学生陸上競技交流大会

COVID-19の感染状況が拡大しているなか都道府県陸協の皆様のご理解を得て無事に開催できた。昨年実施がかなわなかったフレンドシップパーティーの開催も大きな一歩であった。

第39回大会の日程が決まり、2023年9月16日(土)前日練習日、17日(日)競技会ほか、18日(祝)解散日という今年度同様の3日間で設定している。会場は決まり次第連絡する。都道府県大会や全国大会への申込の流れは3月上旬に各都道府県陸協向けの第1信で連絡予定。

(5)JAAF エデュケーター養成講習会

3月下旬で調整しているが、会場および受講者募集に関する詳細は、調整がつき次第連絡する。

## 8. その他連絡事項

(1)JAAF 公認コーチ\_受講推薦、JAAF 公認ジュニアコーチ・スタートコーチ開催会場の希望調査、JSPO 公認指導者管理システム管理者登録、資格更新研修。

(2)その他事業について

有資格者の競技会入場特典の廃止、全国小学生陸上競技指導者中央研修会修了者への専門科目修了証の再発行の廃止。

9. おわりに (閉会) 指導者養成副委員長 沼澤秀雄

# 2022 JRWJs育成研修報告

競技運営委員会

日時：2022年11月27日（日）12：00～16：10

場所：日本陸連事務局

## 開講式

挨拶

鈴木一弘 委員長

JRWJは最近派遣の重要性が非常に増えている。競歩は専門性が問われ、誰でもできるわけではない。競歩審判員のレベルを上げていきたい。ぜひ資格を取っていただき、日本の競歩界を盛り上げていただきたい。

オリエンテーション

佐藤孝洋 委員

本日の流れは、研修Ⅰで歩型判定について、その後研修Ⅱで競歩規則の理解、競歩審判員の実務、競歩運営支援システムの実務と研修、となる。

## 研修Ⅰ 歩型判定

歩型判定のポイント 国内競技会

藤崎明 委員

ロスオブコンタクト（LC）、バントニー（BK）の特徴、判定の位置、イエローパドル（YP）、レッドカード（RC）、の考え方、競歩審判員記入用紙、RC記入の手順、失格告知方法、集計表の書き方について説明された。

歩型判定のポイント オレゴン世界選手権

三浦康二 JRWJ

国際大会のビデオを使ってこのような研修を行ってきた結果日本のレベルが上がり、国際大会での日本選手のRCが極めて減ってきた。札幌で行われた東京五輪では、RCの平均枚数が少ない上位3か国に日本が入った。（オレゴン世界陸上の歩型違反の動画を見ながら解説）

## 研修Ⅱ 運営実務

競技規則の理解

関根春幸 副委員長

競歩競技会の公認要件、日本記録の公認要件、男女混合競技について、記録の判定、競技者についての助力、抗議について、広告規程、2022年4月に変更になった規

則について、説明された。

競歩審判員主任の実務

佐藤孝洋 委員

競歩審判員主任が持つ権限について、関係部署との連携、調整の大切さ、競歩審判員全員との事前打ち合わせで確認すべき内容、競技終了後の振り返りについて説明された。

競歩競技運営支援システムの実務と演習

宇井菜那 JRWJ

競歩競技運営支援システムの使用対象者、システムを使用する効果、システムトラブルに備えた対応について、説明された。

（システムを使用してグループ演習を実施）

## 閉講式

挨拶

関根春幸 副委員長

今日の講習会の目的は来年のJRWJ試験に向けて、ぜひ合格してもらいたいというもの。この上にはIRWJという資格もある。研鑽してさらに上も目指してほしい。来年の合格を願っている。

事務連絡

佐藤孝洋 委員

今後はオンライン研修となり、次回は来年2月に神戸で行われる日本選手権の反省会を兼ねたJRWJの事後の研修会の予定。改めて連絡する。このあと本日の修了証をお持ち帰りいただく。



# 大会観戦ガイド

## 第106回日本陸上競技選手権大会・20km競歩 兼 ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 兼 杭州2022アジア競技大会 日本代表選手選考競技会 兼 パタヤ2023アジア陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 第34回U20選抜競歩大会

▼期日：2023年2月19日（日）

▼競技開始／制限時刻：

- (1) 日本選手権男子 20km 競歩 8時50分／10時22分
- (2) 日本選手権女子 20km 競歩 10時35分／12時24分
- (3) U20選抜男子 10km 競歩 12時30分／13時19分
- (4) U20選抜女子 10km 競歩 13時25分／14時19分

▼コース：六甲アイランド甲南大学西側 20 kmコース（日本陸連公認コース）

▼問合せ先：【申込・大会全般について 日本陸上競技連盟】〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階 TEL：050-1746-8410（土・日・祝日を除く10：00～18：00）

【欠場届・競技運営について 兵庫陸上競技協会】〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4丁目1-6 神戸市生涯学習センター内 TEL：078-231-1771 FAX：078-231-1772

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1695/>



写真：フォート・キシモト

## 第106回日本陸上競技選手権大会 クロスカントリー競走 第38回U20日本陸上競技選手権大会 クロスカントリー競走

▼期日：2023年2月26日（日）

▼場所：国営海の中道海浜公園クロスカントリーコース（福岡市東区西戸崎18-25）

▼種目／距離／スタート：

- ① U20女子 6km 12：50（U20日本選手権種目）
- ② U20男子 8km 13：15（U20日本選手権種目）
- ③ シニア女子 8km 13：50（日本選手権種目）
- ④ シニア男子 10km 14：25（日本選手権種目）

▼問合せ先：【福岡クロカン事務局】〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-12-9 フジビル3F 福岡クロカン事務局

TEL：092-738-2180 FAX：092-738-2243【土・日・祝日、年末年始（12/28～1/4）を除く10：00～12：00／13：00～18：00】

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1696/>

## 名古屋ウィメンズマラソン2023 兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 兼 ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 兼 杭州2022アジア競技大会 日本代表選手選考競技会 兼 マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ

▼期日：2023年3月12日（日）9:10スタート

▼コース：名古屋ウィメンズマラソンコース

【バンテリンドーム ナゴヤ発着、日本陸上競技連盟、WA / AIMS公認コース】

▼問合せ先：

（エントリーについて）ランナーコールセンター

TEL：0570-550661（平日10：00～17：00）

（大会について）名古屋ウィメンズマラソン事務局

エリート担当（中日新聞社スポーツ事業部内）

TEL：052-211-4420（平日10：00～18：00）

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1706/>



写真：フォート・キシモト

事務局からのお知らせ

◆◆セイコー GGP 5.21 横浜・日産スタジアムにて開催！  
セイコーゴールデングランプリ陸上2023横浜◆◆

2023年に開催するセイコーゴールデングランプリ陸上の開催会場が横浜・日産スタジアムに決定しましたので、お知らせいたします。

▼特設サイトはこちら

<http://goldengrandprix-japan.com/>



◆◆JAAFオフィシャルカレンダー 2023: 追加販売が決定しました！◆◆

2022年12月1日（木）より先行販売を行った「JAAFオフィシャルカレンダー2023」につきまして、ご好評によりJAAFオフィシャルショップにて追加販売（数量限定）を行うことが決定しました！

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17356/>



▼JAAFオフィシャルショップはこちら

<https://jaafshop.official.ec/>



◆◆WRK対象競技会: ワールドランキングコンペティション  
2023年からのWAへの記録申請について◆◆

2023年1月よりワールドアスレティックス（WA）にて、ワールドランキングコンペティションが開始されます。これは事前に申請した競技会のみWAワールドランキングおよび国際大会の参加標準記録の対象とする制度です。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17327/>



▼WRK 対象競技会のリストはこちら

<https://www.worldathletics.org/competition/calendar-results?startDate=2023-01-01&regionId=13188446&regionType=country>



◆◆ブダペスト世界陸上への道: WAランキングをチェックしよう！◆◆

2023年8月に、ブダペスト2023世界選手権が開催されます。

ワールドアスレティックス（WA）は、「Road To Budapest23」として、ブダペスト2023世界選手権へ向けての選手ランキングを随時更新しています。ブダペスト2023世界選手権への切符を掴むためには、あといくつ順位をあげる必要があるのか、何ポイント獲得が必要なのか。この機会に是非、各選手のランキング情報をチェックしてみてください！

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17277/>



▼WAサイトの見方（PDF）

[https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202212/19\\_105425.pdf](https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202212/19_105425.pdf)



陸連時報編集委員

◇編集委員

尾縣 貢（陸連会長）  
黄倉 寿雄（陸連副会長）  
瀬古 利彦（陸連副会長）  
有森 裕子（陸連副会長）  
風間 明（陸連専務理事）  
山崎 一彦（陸連強化委員長）

鈴木 英穂（陸連事務局長）  
石井 亮（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

石井 朗生  
◇時報編集担当  
日本陸連 広報課

陸連時報編集室

〒160-0013  
東京都新宿区霞ヶ丘4-2  
JAPAN SPORT OLYMPIC  
SQUARE 9階  
日本陸上競技連盟内  
TEL：050-1746-8410  
FAX：050-3588-1869